



JURIN

木と根



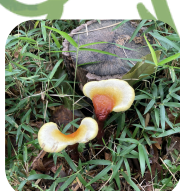
NEWSLETTER

No.08
June 2026

【雑木林の分解者 共生者】



雑木林の林床には落ち葉や倒木、切り株などを分解し土壌を豊かにするキノコ（腐生菌）がたくさん発生しています。腐生菌は硬い木材に含まれるセルロースやリグニンなどを分解し、栄養分として土へ還しています。古い命を新しい命へ繋ぐ大切な役割を担っています。



生きた植物と共生関係を築いて生活しているキノコ（菌根菌）もあります。菌糸を土の中に張り巡らせ、植物の細根部に共生して菌根をつくります。キノコはチッ素やリンカリウムなどの無機養分や水を吸収し自ら利用するとともに植物の根と菌類が作る共生体（菌根）を介して樹木へ届けます。一方、植物は光合成でつくった糖類などを菌類に与えます。

キノコは分解者と共生者の2つの役割があり、雑木林の土の中では目に見えないキノコのネットワークが広がっています。



光合成をしない菌従属栄養植物のマヤランは樹木（ブナ科・カバノキ科・マツ科）とキノコ（ベニタケなどの仲間）と三者共生をしているラン科植物です。

PICK UP! ~いきものさがし~

ちょっと怖いイメージですがよく見ると実はかわいいクモたち。春〜冬と1年を通していろいろなクモに出会えます。網を張らず地面や草木を歩き回り、待ち伏せして獲物を捕食するクモ（徘徊型）、クモ糸で網を張り獲物がかかるのを待伏せするクモ（造網型）に分かれます。地中型のクモもいます。クモは自然環境の指標生物、自然の豊かさを示す大切な生きものです。みなさんもクモ探ししてみませんか？

クモ



徘徊型



造網型

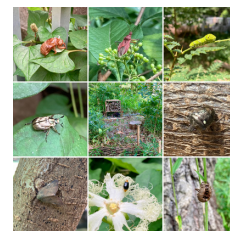


生きものたちのすみかなどの環境を作りながら雑木林や草はらを大切に保護しています。

草はら開放日
活動報告

7月11日（土）晴天

夏の始まりのような1日、雑木林でセミの合唱やアオゲラの鳴き声が聴こえている中での開放日でした。こども達の姿は少なかったのですが草はらには小さな昆虫がたくさん！廃材を集めてインセクトホテルを作りました。これからどんな生きものが来るのか観察が楽しみです。



次回開放日

8 / 8（土）

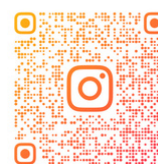
10:00~12:00

※雨天延期

熱中症対策で午前中のみ

開放日だけ
図書室オープン

KI_TO_NE BOOKS

虫ホテル
見学できます！SNSでも活動を
発信しています！

@KI_TO_NE_BOOKS

※ボランティア募集中※
雑木林保全ボランティアチーム
「木と根」

kitone.0227@gmail.com